

「音楽でプレイ」

(第十九回)

関西空港から空路で11時間、オランダのアムステルダムに到着。音楽の殿堂として知られる建物「コンセルトヘボール」に隣接したホテルに宿泊した。コンセルトとは英語でコンサートのこと。ヘボールとはホールという意味で、ヘボな、下手なということではない。世界的な名声を得ている同名の管弦楽団が、ここで110年以上活躍している。

本ホールは音楽のためだけに作られたもの。すべてが木製で、音も雰囲気も暖かい。美しい響きには定評があり、多くのファンが支えている。オランダは低湿地のため、かつて、本ホールが地盤沈下で倒壊の危機に瀕したことがあった。直ちに改築工事を始めたが、世界中から寄付が集まり、9年間にわた

健康のススメ

板東 浩

る工事中、コンサートは一度も中止されなかったのである。

夕方6時から始まった「プレイユーコンサート」。入場料はわずか800円。ステージに上がる団員はカラフルな普段着で、ポピュラーやジャズなども演奏する。

指揮者はタクトを振るよりも、しゃべるのが仕事。曲のおもしろさやウィットがわかりやすく解説され、聴衆にも笑いがかはれていた。

会場係とおしゃべりをしていたら、午後8時15分からの高価なチケットを私にプレゼントしてくれた。おかげで、新しい近現代の交響曲を聴くことができた。

そういえば、「人間とは遊ぶ者である」という哲学者の言葉がある。音楽や楽器はプレイするもの。音楽とは本来、音楽を楽しむ遊ぶツールだと再認識した次第であった。

(徳島大学附属病院内科医師)